

## 2006年度 ドコモ留学生奨学金募集・推薦要項

財団法人 日本国際教育支援協会

財団法人日本国際教育支援協会（以下「本協会」という。）では、NPO法人 モバイル・コミュニケーション・ファンド（理事長 立川 敬二氏，株式会社NTTドコモグループが中心となり設立したNPO法人）（以下「ドコモMCF」という。）のご支援により、「2006年度 ドコモ留学生奨学金」（以下「奨学金」という。）の受給者を下記により募集する。

### 記

#### 1. 目的

この奨学金は、本協会が、アジア地域からの優秀な私費外国人留学生に対して、奨学金を支給することによって、入学後の経済的不安を緩和し、学習効果を高めることに寄与することを目的とする。

#### 2. 奨学金の提供者及び提供の趣旨

この奨学金の提供者であるドコモMCFは、21世紀のマルチメディア社会において情報通信・移動通信の発展とともに豊かで健全な社会を実現するため情報通信・移動通信分野における人材の育成及び研究の促進、留学生に対する支援を通じた国際協力の推進並びに社会福祉の増進等、幅広い分野への支援活動を通じて社会全体の利益に寄与することを目的に活動しておられる。

ドコモMCFは、アジア地域からの留学生への支援を通して、日本への理解を促進し、日本とアジアの良好な友好関係構築に資することを主旨として資金を提供された。

（注）NPO(Non Profit Organization) 法人とは、「特定非営利活動促進法」によって設立された非政府の民間組織である特定非営利活動法人のことをいう。

#### 3. 応募資格

応募することができる者は、次の各号のすべてに該当するものとする。

(1) 2006年4月入学者で、わが国の大学に設置される大学院修士課程（博士前期課程）1年次に在籍する私費外国人留学生で、次のいずれかの部門を専攻する者

ア. 通信技術、情報処理技術及びこれに関連する部門を専攻する者

イ. 人文・社会科学等ア以外の部門を専攻する者で、研究手法に通信や情報処理が活用されると大学が認める者

（注）イを専攻するものは願書の●留学計画(2)大学院在籍中の研究計画の欄に研究手法としての通信や情報処理活用の考え方を明記すること。

(2) インド、インドネシア、カンボジア、シンガポール、スリランカ、タイ、韓国、台湾、中国（香港、マカオを含む）、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、フィリピン、ブータン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、モルディブ、モンゴル、ラオス、東ティモールのいずれかの国・地域からの留学生

(3) 留学の目的及び計画が明確で、修学効果が期待できる者

(4) 大学院の授業等に適應することができる日本語能力を有する者

(5) 大学の長の推薦を受けることができる者

(注1) 「わが国の大学」とは、寄付者と協議の上選定した70校による指定校制とする。

(注2) 大学院修士課程に在籍する間、他の機関、団体等から奨学金等の支給を受ける者は、応募をすることができない。

(注3) 夫婦の一方の者が既に日本政府（文部科学省）奨学金留学生等として採用されている場合は応募をすることができない。

#### 4. 採用人数

2006年度4月期の採用人数は、20名とする。

#### 5. 奨学金月額

奨学金月額は、120,000円とする。

ただし、大学を休学又は長期欠席、また留年した場合は、奨学金を原則として支給しない。

#### 6. 支給期間

支給期間は、2006年4月より2008年3月までの2年間とする。

#### 7. 推薦方法

(1) 奨学金を受けようとする者（以下「応募者」という。）は、所定の様式による願書を、入学（在籍）する大学を通じて、本協会理事長（以下「理事長」という。）に提出するものとする。

(2) 大学の長は、応募者が3に掲げる応募資格に該当するとともに、学業・人物ともに優秀と認められる者について、8に掲げる推薦書類を、理事長に提出するものとする。

なお、推薦人数は、1大学につき2名までとする。但し、同一の国・地域からは1名までとする。

#### 8. 推薦書類

(1) 願書（別紙様式1。日本語で記載されたものに限る。） 1通

(2) 応募者の写真（最近6か月以内に撮影したもの。4.0cm×3.0cm、上半身、脱帽、裏面に氏名を記入し、願書の所定欄に貼付すること。） 1葉

(3) 大学の長による応募者推薦書(別紙様式2)(注)推薦理由は指導教官等が記入すること。 1通

#### 9. 推薦締切期日

~~2006年4月28日(金)まで(本協会必着)とする(書留の郵送に限る。)~~

なお、締切期日を過ぎた場合、提出書類が不備の場合は、受理しない。 *各専攻事務室に問い合わせ*

また、提出書類は一切返却しない。

#### 10. 選考及び結果の通知

理事長は、7の(2)により推薦された者について国籍及び専攻分野等に配慮した書類審査の上、本協会に設置する選考委員会に諮り、受給者を決定し、採用者には、2006年5月下旬を目途に、大学を通じて通知する。

#### 11. 奨学金の支給等

奨学金は、別に定める方法により、在籍大学を通じて支給する。

#### 12. 注意事項

(1) 受給者が、次のアからイのいずれか一つに該当した場合には、受給決定が取り消される。

ア. 推薦書類の記載事項に虚偽が発見された場合

イ. この要項に定める事項に該当しなくなった場合

(2) 奨学金の支給期間中に、在籍大学において懲戒処分を受けたり、学業成績が著しく不良であったり、受給決定の際に通知する事項を遵守しない場合等は、途中で奨学金の支給を打切ることがある。

(3) 受給者は、奨学金支給期間中の学習・研究状況を、毎年、在籍大学を通じて、理事長に報告しなければならない。

#### 13. 推薦書類の提出先・問い合わせ先

~~財団法人日本国際教育支援協会 事業部 国際交流課~~

~~〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-2-9~~

~~TEL 03-5454-5274 FAX 03-5454-5232~~

~~E-mail: ix@jees.or.jp~~

*各専攻事務室*